

科目区分・分類	専門・講義	対象学科名・学年	環境都市5年	科目コード	59501584
科目名	建築法規				
担当教員	西川 嘉雄				
単位数(時間数)	必修 後期 1単位 (30時間)	学習・教育目標との対応	(D-1)(D-2)		
授業の目的と概要	建築基準法を中心とする各種建築関連法規の基本的な事項を習得することを目的とする。建築基準法と建築士法、都市計画法、ハートビル法、住宅の品質確保の促進などに関する法律などが対象である。				
先修科目	建築計画				
後修科目					
備考					
	授業項目	時間	内容		
1	建築法規の構成	2	法規の必要性を説明できる。		
2	法律用語	2	法律用語が理解できる。		
3	敷地面積・建物面積	2	敷地面積・建物面積が計算できる。		
4	高さ、階数	2	建物の高さ、階数が算定できる。		
5	居室採光・換気	2	居室採光・換気が説明できる。		
6	防火・避難などの規定	2	防火・避難の基準が説明できる。		
7	一般構造に関する規定	2	構造強度、各種構造の規制を説明できる。		
後期中間試験					
8	用途地域による用途制限	2	建物の用途制限が説明できる。		
9	道路の定義、敷地と道路の関係	2	建物と敷地、道路の関係が説明できる。		
10	建ぺい率、容積率	2	建ぺい率、容積率の計算ができる。		
11	高さ規制	2	建物の高さの計算ができる。		
12	建築士法	2	建築士の業務を理解できる。		
13	都市計画法・ハートビル法	2	各法規の概要について説明できる。		
14	住宅の品質確保の促進等に関する法律	2	性能確保すべき項目を説明できる。		
15	その他の法律	2	建設業法・消防法などを理解できる。		
学年末試験					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	建築基準法と建築士法、都市計画法、ハートビル法、住宅の品質確保の促進などの建築関連法規の基本事項を理解し、住宅設計に必要な法規内容を説明できること。以上の内容を総合して評価し、学習・教育目標のD-1及びD-2の達成とする。				
成績評価	前期中間試験(50%)、前期期末試験(50%)の合計100点満点でD-1、D-2を評価し、合計の6割以上を獲得した者をこの科目の合格者とする。				
教材	教科書：今村仁美「図解 やさしい建築環境」学芸出版社 参考書：大野隆司・杉田宣生「建築法規」市ヶ谷出版 日本建築学会編「建築法規用教材」日本建築学会 「基本建築基準法関連法令集」建築資料研究社				

オフィスアワー

毎週水曜日16:00～17:00，環境都市工学科，西川教員室．